

四十四田ダム紹介



四十四田ダムの概要

四十四田ダムは、岩手県内を北から南に流れる北上川の本川に昭和43年に造られた多目的ダムです。盛岡市内などの下流市町村の暮らしを洪水から守り、発電を行っております。

ダムの緒元

	四十四田ダム
水系 / 河川名	北上川 / 北上川
ダム型式	コンクリート・アースフィル複合
流域面積	1,196.0km ²
ダム高さ	50.0m
ダム長さ	480.0m
堤体積	コ290,000m ³ ・土92,150m ³
湛水面積	3.9km ²
総貯水容量	47,100,000m ³
洪水調節容量	33,900,000m ³
計画洪水流量	1,350m ³ /s
計画調節量	650m ³ /s
発電量	15,100kw
着工 / 竣工	S37年 / S43年

ダムの役割

洪水調節



計画洪水流量1,350m³/sに対し650m³/sを調節しダムに貯めます。

発電

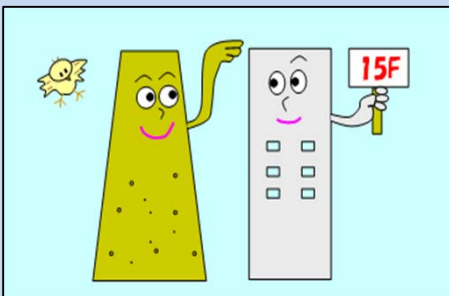


岩手県企業局四十四田発電所

約2万世帯の家庭で使われる電気の量に相当する発電を行います。

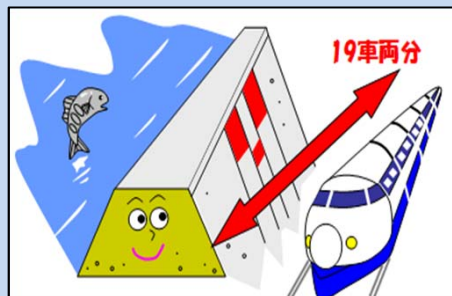
ダムの大きさ

ダムの高さ



ダムの高さは、基礎岩盤から50mあり15階建てのビルとほぼ同じ高さです。

ダムの長さ



ダムの長さは、コンクリート部とアース部合わせて480mあり、新幹線の車両19両とほぼ同じ長さです。

ダムの広さ

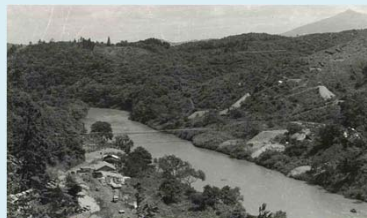


ダムの広さ(貯水面積)は、3.9km²あり、東京ドームの84個分の広さになります。

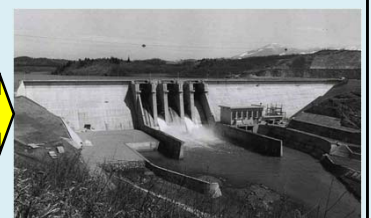
ダムの歴史ワンポイント

・ダム建設地点

四十四田ダムが建設される当時の写真と完成した頃のの写真です。地域の方々のご協力により、この地に四十四田ダムが建設されました。



昭和36年9月のダム地点



昭和43年4月のダム地点

・北上川が清流に戻る

四十四田ダムが完成した当時は、鉄分を含んだ旧松尾鉱山廃水がダムに流れ込み、ダム本体も赤色に染まっていた。その後、昭和56年に新中和処理施設が完成し、清らかな流れを取り戻しています。



当時の四十四田ダム



現在の四十四田ダム

四十四田ダム周辺の見どころ案内



逆さ南部片富士

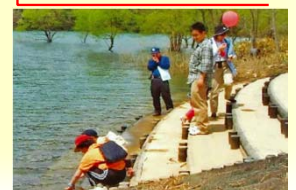


ダム堤体の桜と融雪放流

四十四田ダムには、水辺公園や散策路などが整備されています。○の箇所



展示室「ものしり館」開放中



柳平水辺公園地区

北上川ダム統合管理事務所ホームページ

- インターネット <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>
- 携帯電話 <http://keitai.thr.mlit.go.jp/kitakato/mobile/index.html>
- スマートフォン <http://keitai.thr.mlit.go.jp/kitakato/sp/>

国土交通省 北上川ダム統合管理事務所

〒020-0123 岩手県盛岡市下厨川字四十四田1
TEL019-643-7972